



すてい~る

目次

●特集 第7回定時総会

●「第7回定時総会」を開催	1
●支部だより 各支部でも総会を開催	5
●青年部会「第7回定時総会」を開催	7
●いま世界へ! 各社が取り組む海外展開事例—櫻井鋼鐵株式会社	8
●「はがねの日」記念行事	9
●平成30年度特殊鋼販売技士1級資格認定式	11
●ザン・ティバウちゃんがチャイルドスポンサーシップを卒業しました!	13
●理事会・委員会報告	14
●事務局だより・編集後記	裏表紙



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail info@zentokkyo.or.jp

「第7回定時総会」を開催



全日本特殊鋼流通協会では令和元年6月17日(月)、名古屋市中村区の「名古屋マリオットアソシアホテル」において第7回定時総会を開催した。議決権を有する正会員60社(ほか委任状提出正会員数145社)の出席を得たことで議事定足数を満たした総会では、以下の各議案が審議され、いずれも原案どおり満場一致で承認された。

第1号議案 平成30年度事業報告書及びその附属明細書承認の件

第2号議案 平成30年度賃借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書承認の件

第3号議案 令和元年度事業計画、収支予算について報告する件

研修講座のWEB化推進など新たな取り組みを

本総会は、非改選期にあたるため本部の理事・監事の役員は全員留任となった。承認された令和元年度の事業計画のポイントは以下のとおりである。

◎昨年度より会費を値上げしたことに鑑み、あらゆる視点から各事業を精査し、縮減可能な事業がある場合は見直しを図りながら活動を行うこととし、健全な財政を確立する。

◎中長期的な観点から業界の足固めをしっかりとするため、人材育成事業のさらなる充実を図る。その一環として「WEB研修講座」に新たに取り組む。具体的には特殊鋼販売技士3級研修講座において、大阪支部で100名規模のWEB研修会場を開設し、受講者数名規模の中国支部でWEBサテライト会場を設ける予定である。

そのほか、全国イベントとしてのボウリング大会を当面継続し、第4回大会は今秋10月12日(土)に品川プリンスホテルボウリングセンターで開催することが報告された。また、内外交流委員会で毎年企画している海外視察事業について今年度は、9月にスペイン(バルセロナ・マドリード)を訪問先として計画していることが報告された。



会長あいさつ

一般社団法人全日本特殊鋼流通協会 会長 佐久間貞介

大変革期を迎え、研修のWEB化など団体事業をさらに意義深いものにし、協会の魅力を高める



本日は大変お忙しい中、中部経済産業局 岡本正弘産業部長様、一般社団法人特殊鋼倶楽部 立花一人副会長様をはじめ、多くのご来賓の方々にご臨席賜り、心より御礼申し上げます。

今回は、一般社団法人の認可を受けて七回目の定時総会となりますが、名古屋支部担当ということで、ここ名古屋のマリオットアソシアホテルで開催させていただきました。大変お忙しい中を、全国各地から多くの皆様にご参加をいただき、このように盛大に開催できましたことに、深く感謝申し上げます。また、本日の開催準備を担当いただきました松岳支部長はじめ名古屋支部の皆様、に、厚く御礼申し上げます。ご参加いただきました皆様には、この後のアトラクション・お食事を充分にお楽しみいただきたいと思います。

さて、昨年の特殊鋼業界の状況は、欧州経済の減速、米中貿易摩擦の激化などの問題がある中でも、自動車業界を中心とした需要家様の好調にも支えられ、売上高や販売数量的には増加傾向にありました。しかしその反面、副資材や輸送費・人件費のコストアップ要因もあり、収益面では厳しさが感じ

られた一年でもありました。

特殊鋼最大の需要先でもある自動車産業は、CASEという4つのキーワードで、百年に一度と言われる大変革期を迎えております。しかし今後訪れるどのような未来社会の実現にも、高性能材料である特殊鋼は必要とされ、その出番はますます増えてゆくと思われまます。そのような中で、需要家様・メーカー様・会員の皆様様が当協会にどのようなことを期待されるのかを知り、当協会もどのように変わるか、また変えていくべきかを考えてゆかなければなりません。

令和元年度の事業計画は、中核的事业として位置づけられている特殊鋼販売技士・加工技士などの人材育成事業について、従来からの研修講座を引き続き推進してまいります。研修講座のWEB化についても積極的に進めてまいります。

また、海外視察研修については、今年度は欧州スペインの自動車関連企業を中心とした現地視察の計画を進めてまいります。

さらに、昨年度経済産業省様に後援者となっていただき、特殊鋼倶楽部様と共同で進めております『価格決定方法の適正化』等の取り組みを今年度も継続して参ります。

このような、個社単独では中々対応しきれない団体事業を、さらに意義深いものとしていくためには、当協会の組織自体をさらに強固なものにし、特殊鋼業界でのプレゼンスを高めていく必要があります。そのためには、特殊鋼に関連する様々な関係団体様とこれまで以上に友好を深め、当協会の魅力度を高めて、協会の会員増強に繋がる取り組みを、会員の皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

会長に選任されまして、三期半ばを迎えることになりましたが、特殊鋼流通業界がさらなる飛躍を遂げるため、会員各社の発展のため、微力ではございますが、精一杯努力を続けて参る所存です。

引き続き当協会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます、私の挨拶といたします。



講演会&懇親会

講演会

「リーダーの条件とはなにか？」 経営のエキスパートから貴重なお話をうかがう

総会終了後は、経営コンサルタントの小宮一慶氏を招いて「成功するリーダーの条件」と題した講演会を開催した。

(株)小宮コンサルタンツを経営され、名古屋大学客員教授のほか旺盛な講演活動や著作で知られる小宮氏は、佐久間貞介会長が日頃より経営の師として仰いでいることから今回の講演が実現。約90分間の講演では「リーダーが成功するための心構え」などを中心にレクチャーをされた。

なかでも印象深かったのは、「リーダーは先生ではなく指揮官。そのためには一歩踏み込んで先頭に立て。そして責任をとること」、その上で「人を動かすには売上ノルマだけでなく、部下がワクワクするような目標を立てよ。働く幸せとともに経済的な幸せも与えよ」とアドバイスされた。



〈小宮一慶氏：プロフィール〉

1957年大阪府堺市生まれ。1981年京都大学法学部を卒業後、東京銀行(現三菱UFJ銀行)に入行し、名古屋支店、本店営業部で勤務。1984年には米国ダートマス大学タック経営大学院に留学し、MBAを取得。1995年には(株)小宮コンサルタンツ代表取締役役に就任。2005～2009年には明治大学会計大学院特任教授、2014年からは名古屋大学客員教授を務める。幅広く経営コンサルティングを行うかわら、毎年100回以上の講演を行う。雑誌連載のほか多岐にわたる著書を140冊以上も出版し、累計発行部数は実に370万部を超えている。

また、成功している人の5つの特徴として、①「せっかち」である(やるべきことを明日に持ち越さない) ②長所を見つけ、人を心からほめることができる ③他人のことも自分のことのように考える ④怖いけどやさしい ⑤素直である をあげられるなど、終始軽妙な語り口で時間を感じさせず、経営のエキスパートならではの示唆に富んだお話をうかがうことができた。

懇親会



あいさつされる岡本産業部長(左)と立花特殊鋼倶楽部副会長(右)



講演会終了後の懇親会では、佐久間貞介会長があいさつ(2ページ)した後、ご来賓を代表された経済産業省中部経済産業局産業部長の岡本正弘氏から「貴協会は佐久間会長のリーダーシップの下、人材育成事業など多様な取り組みで業界発展に多大な貢献をされており、ものづくり愛知を支えてこられた。全特協の皆様へ改めて御礼を」と感謝とねぎらいのお言葉を頂戴し、「百年に一度の自動車の構造改革が迫る今後の環境変化の中で、経済産業省としても外国人受入れ問題に関する相談窓口の開設やITクラウド導入などに対する各種補助金など、サプライチェーンを支える中小企業への下支え政策を積極的に進めていくので、皆様も選択的な経営力向上に邁進され、ものづくり日本を支えてください」と期待を寄せていただいた。

続いて「昨年度は自動車産業界が堅調であったことから需要も3年連続アップを記録した特殊鋼だが、諸課題から年後半に向けて不透明感が強まってきている。そういうときこそ、流通とメーカーがしっかり連携をとってピンチをチャンスに変えていかなければいけない」とあいさつに立った、特殊鋼倶楽部副会長の立花一人氏(大同特殊鋼・代表取締役副社長執行役員)のご発声で乾杯。

懇親会は、令和へと元号も変わった節目に特殊鋼業界が新たなスタートを切るにふさわしい、活気あふれる懇談が行われた。名古屋支部長、全特協副会長などを歴任され、昨年11月に旭日双光章を受章された熊谷達男氏(クマガイ特殊鋼・代表取締役会長)に花束贈呈がされるなど、宴もたけなわのころ(すてい〜の67号)でも紹介した「鋼プロジェクト」による歌謡ショーも披露。鋼孝太郎こと竹内誠二氏(竹内ハガネ商行・代表取締役社長)が、特殊鋼への熱い思いを込めた業界応援ソング「鋼の勇気」などを熱唱。会場が大いに沸いた後は、松岳大樹・名古屋支部長(トーキン・代表取締役)が「令和最初の総会を名古屋で無事開催できたのは皆さんのおかげ。令和を英訳するとビューティフル・シンフォニー。美しい調和となります。新しい時代を本日お集まりの皆様と美しいハーモニーを奏でながら、特殊鋼業界の発展に尽くしていきましょう」と呼びかけ中締めを行った。



あいさつする松岳名古屋支部長



あいさつする熊谷氏



懇親会に花を添えた竹内氏



ガールズユニット「ラブジャミ」とともに華やかで特殊鋼への愛にあふれた歌唱を披露した鋼孝太郎こと竹内誠二氏

懇親ゴルフコンペ

梅雨の晴れ間に恵まれた 中京の名門コースに36名が参加

総会の翌日6月18日(火)には、かつて日本オープン開催の中京の名門コースである「愛知カンツリー倶楽部」にて有志による懇親ゴルフコンペを開催した。

10組36名の参加者でホスト役の松岳大樹名古屋支部長の「昨日の総会よりご参加いただきありがとうございます。皆さんの普段の心掛けが良いのか絶好のゴルフ日和になりました」などとあいさつの後、アウトとインに分かれて賑々しくスタートし、タフな難問コースに参加者全員がチャレンジした。当日は梅雨時にもかかわらず天候も良く絶好のゴルフ日和で、全員が元気よくホールアウトした。

その後、樫巳芳・副会長(辰巳屋興業・代表取締役社長)の「昨日の総会と今日の懇親ゴルフ大会と、多くのご参加を得て盛大に行うことができありがとうございます」などとの感謝のあいさつで表彰式は始まった。

優勝は、豫洲短板産業(株)の森純一郎氏がグロス83、ハンディキャップ9.9、ネット73.1で獲得した。準優勝は(株)F&Cホールディングスの藤巻秀平氏が、ベストグロス賞には3位入賞された川北特殊鋼(株)の川北誠氏がグロス79で獲得。またブービー賞には、(株)伊藤ハガネの伊藤勝彦氏が獲得した。

最後には、碓井達郎・東京支部長(碓井鋼材・代表取締役)の「来年の総会は東京開催の年、今日のような晴天の日にセッいたしますので大勢のご参加をお待ちしております」などと中締めのあいさつにより散会した。



■全特協懇親ゴルフコンペ上位成績

順位	氏名	会社	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	森 純一郎	豫洲短板産業(株)	42	41	83	9.9	73.1
準優勝	藤巻 秀平	(株)F&Cホールディングス	43	43	86	12.3	73.7
3位	川北 誠	川北特殊鋼(株)	39	40	79	4.9	74.1
4位	藤巻 武利	(株)F&Cホールディングス	43	40	83	8.6	74.4
5位	碓井 達郎	碓井鋼材(株)	41	42	83	7.4	75.6

支部だより

支部総会開催

東京支部 開催日時：令和元年6月5日(水) 開催場所：如水会館

出席：47社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- 第1号議案 平成30年度事業報告書(案)承認の件
平成30年度収支決算書(案)承認の件
監査報告書
- 第2号議案 令和元年度事業計画書(案)承認の件
令和元年度収支予算書(案)承認の件
- 第3号議案 役員選任(案)承認の件
協会委員会への支部派遣委員(案)承認の件



(左から)あいさつする碓井支部長、湊副会長



小松全特協理事による中締め

本年度は非改選期にあたるため、第3号議案については役員全員が留任された。総会終了後の懇親会で碓井達郎支部長は、「今年度は本部、各支部とも事業の見直しをしようということになっている。先ほど承認いただいた事業についても、さまざまに評価しながらやっていく。皆さんの発想や意見をいただきながら時代に即した事業を考えていながら、会員各社や社員にも役立つ会としていきたい」と抱負を述べた。

乾杯の発声に立った湊義明・全特協副会長(野村鋼機・代表取締役社長)は、「今年度から協会の健全化を目的に会費を値上げさせていただいた。皆様のご協力により、多少の余裕も出てきた。支部長が申し上げたとおり、事業についてさまざまなご意見、ご提案をいただきながら充実を図っていきたい」と呼びかけ、小松稔・全特協理事(マクスコーポレーション・代表取締役社長)の中締めまで活気あふれる懇談が行われた。

大阪支部 開催日時：令和元年6月5日(水) 開催場所：ザ・リッツ・カールトン大阪

出席：88社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①2018年度事業報告承認の件
- ②2018年度収支決算承認の件
- ③2019年度事業計画(案)承認の件
- ④2019年度収支予算(案)承認の件
- ⑤会員の異動(入会：リントツ、日立金属工具鋼
退会：日乃出特殊鋼鍛造)



あいさつする久木田支部長



平林特殊鋼倶楽部大阪支部運営委員長による乾杯発声

総会後の懇親会で久木田至支部長(櫻井鋼鐵・代表取締役社長)は、「全特協は昨年、賛助会員にもご協力いただいで会費の値上げを行ったが、佐久間会長の下、ゼロスタートで会員、賛助会員の皆様により楽しんでいただける企画を増やしていきたいと思うので、1~2年後に期待していただきたい。特殊鋼の景気については若干曇りだが、雨まで降っていないのはマシな業界かと思う。東京五輪、大阪万博、リニア、北陸新幹線と土木建築が目白押しなので、なんらかの恩恵を深く期待し、こういうときこそ賛助会員と会員の情報交換や連携を密にして体力ある業界にしていきたい」とあいさつ。来賓を代表して井上満・特殊鋼倶楽部大阪支部長(山陽特殊製鋼・執行役員大阪支店長)、平林一彦・特殊鋼倶楽部大阪支部運営委員長(大同特殊鋼・常務執行役員大阪支店長)があいさつをして乾杯。福原実晴・全特協副会長(南海鋼材・代表取締役)の中締めまで活気あふれる懇談が行われた。



福原全特協副会長による中締め

名古屋支部 開催日時：令和元年6月17日(月) 開催場所：名古屋マリオネットアソシアホテル

出席：73社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- 第1号議案 2018年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2018年度決算報告承認の件
監査報告
- 第3号議案 2019年度事業計画承認の件
- 第4号議案 2019年度予算承認の件
- 報告事項 支部役員及び運営委員について



あいさつする松岳支部長



今回、名古屋支部は全国総会の設営などホスト役を務めたこと、また静岡支部と合同で中日本ブロックの昼食懇親会を開催したこともあり、上記議案を審議・承認するのみの進行にとどまった。冒頭あいさつに立った松岳大樹支部長は、「一日長丁場となるが、名古屋から大勢参加いただいた支部会員の方に御礼申し上げます」とねぎらった。

東北支部 開催日時：令和元年6月20日(木) 開催場所：磐梯熱海温泉「四季采一力」 出席：21社(委任状含む)

次の議案を審議、承認した。

- ①平成30年度事業報告・会計報告・会計監査報告(案)
- ②令和元年度事業及び予算計画(案)

冒頭、横山大支部長(横山鋼業・代表取締役)が「東北支部は東日本ブロックとして、東京北関東の3支部と連携を図りながらモノづくりの動向も踏まえて情報の共有、共存できるような支部にしていきたい」とあいさつ。続いて事務局・秋保英夫氏(大同DMソリューション)より各議案の説明があり、議案は満場一致で承認された。引き続き、仙台国税局担当官が「消費税軽減税率制度」について説明の後、活発な質疑応答がされた。

懇親会は、東北支部担当講師でもある武田裕正氏(東特興業・代表取締役社長)より、昨年度の販売技士研修講座の講評も交えた乾杯の発声で始まり、森高臣副支部長(関東鋼鉄・代表取締役)の中締めで散会となった。



あいさつする横山支部長



消費税説明会の様子

北関東支部 開催日時：令和元年6月20日(木) 開催場所：伊香保温泉・ホテル木暮 出席：19名

次の議案を審議、承認した。

- ①平成30年度事業報告・会計報告・会計監査報告(案)
- ②令和元年度事業及び予算計画(案)

鈴木至典支部長(鈴木機械・代表取締役)は、冒頭のあいさつで「皆さんと交流を深める中で会社の運営に役立つ情報交換ができればと期待する。商売に限らない同じ悩みを持つ者同士が語り合える場として活用していただきたいし、北関東地区の皆さんのためになる活動を行ってほしい」と述べた。

総会後は懇親会に移り、夜を徹して業界の将来を語り明かした。



あいさつする鈴木支部長



静岡支部 開催日時：令和元年6月17日(月) 開催場所：名古屋マリオネットアソシアホテル 出席：9名

次の議題を審議、承認した。

- ①平成30年度事業報告・会計報告
- ②会計監査報告
- ③令和元年度事業計画・予算案

冒頭あいさつに立った原博康支部長(東京鋼機・代表取締役社長)は「昨年度は特殊鋼販売技士の3級、1級の講座と試験を実施でき、特に1級では全員合格してうれしく思っている。今秋には2級講座を開講するほか、8月には全国ボウリング大会の予選、名古屋支部との合同事業も行いながら活発な活動を図っていく」と抱負を述べた。総会後は、名古屋支部とともに中日本ブロック昼食懇談会を開催した。



あいさつする原支部長

中国支部 開催日時：令和元年6月27日(木) 開催場所：福山ニューキャッスルホテル 出席：16社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①2018年度事業報告承認の件
- ②2018年度収支決算承認の件
- ③会員の異動
- ④2019年度事業計画(案)承認の件
- ⑤2019年度収支予算(案)承認の件

総会冒頭で木村雅昭支部長(深江特殊鋼・代表取締役)は、「研修制度の積極的な参加による営業スキル向上、協会メンバー会社同士の懇親を深め、力を合わせることで、新たな価値を創造していくことで、同業者同士とも、お客様とも、互いにWin-Winとなる関係を築きましょう」とあいさつ。

その後、懇親会は、瓦井隼人氏(山陽特殊製鋼・広島支店長)の乾杯の音頭でスタート。ホテル特製の料理と元タカラジェンヌのアトラクションで大いに盛り上がり、本部の福原實晴副会長兼西日本ブロック長の中締めで、盛会のうちに散会となった。



あいさつする木村支部長



九州支部 九州支部 開催日時：令和元年6月21日(金) 開催場所：福岡市・八仙閣 出席：24名

次の議題を審議、承認した。

- ①平成30年度活動・決算報告
- ②令和元年度活動・予算計画報告
- ③特殊鋼販売技士1級合格者の認証式(代表で6名出席)

式典後、吉永博支部長(特殊鋼機・代表取締役)が「来年度は西日本ブロックとしての共催事業を行いたい。今後の九州支部のあるべき姿を考えると執行部の若返りが必要であり、今年中には道筋を立てたい」とあいさつ。乾杯後会員間の懇親を深めることができた。



あいさつする吉永支部長



1級試験合格者の表彰式

青年部会「第7回定時総会」を 姫路で開催

青年部会は令和元年6月21日(金)、兵庫県姫路市で部会員17名の参加を得て、第7回定時総会を開催した。

総会に先立ち行った大手鋳物メーカーの虹技(株)の工場見学会では冒頭、山本幹雄代表取締役社長のあいさつの後、デンスパー工場、大小鋳物工場、ロール工場を見学。続いて同社会議室を拝借し総会を開催。鴨山剛至・副部会長の司会で始まり、田嶋直・部会長が「景気は米中摩擦の影響もあり輸出関連や製造関連が弱含み、先行き不透明な感じになっている。流通として知恵を出しながら、全特協の行事にも大いに参加していただいて盛り上げていきたい」とあいさつし、6月17日行われた全特協本部の定時総会で承認された令和元年度の事業計画を簡単に説明した。

青年部会第7回定時総会では「平成30年度事業報告および収支報告」「令和元年度事業計画(案)および収支予算(案)」「令和元年度の運営委員の選任(案)」が審議・承認された。

部会員の移動については新規加入会員2名(川中直樹氏(デルタスチール(株))、牟田晃夫氏(日本金型材(株)))が報告された。運営委員は川本哲也氏



虹技(株)の皆さんと工場見学後一緒に記念撮影

(川本鋼材(株))が選任された。

引き続き、令和元年度運営委員による「第19回運営委員会」が開催され、新部会長に川北誠氏(川北特殊鋼(株))を選任。副部会長については、三上晃史氏(ノボル鋼鉄(株))、鴨山剛至氏(東海鋼鉄(株))、岩井大昌氏(巴鋼鉄(株))、林田彰司氏(林田特殊鋼材(株))、永田友康氏(永田鋼材(株))の5名が再任され、新たに鷲野敦司氏(名古屋特殊鋼(株))

が選任された。なお田嶋直氏((株)鐵鋼社)は部会長を退任し、顧問に委嘱。また副部会長・部会長・顧問と長年青年部会を牽引されてきた松岳大樹氏、久木田至氏、山村弥氏が顧問を退任された。

新部会長 川北誠氏 あいさつ



今回の総会で50歳定年で卒業かと思ったら定年延長があり、図らずも新部会長ということになりました。引き続き皆様のご協力を得ながら微力ではありますが頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。



第7回定時総会の様子

いま世界へ！各社が取り組む海外展開事例

国内の消費不振に加えて輸入鋼材の調達が一般化するなど、特殊鋼の国内需要も大きな伸びは期待できない時代に入っている。また、為替変動リスクにも対応するため自動車部品を中心としたメーカー各社の海外生産シフトは既定路線となっている。そうした背景から、特殊鋼流通各社も規模の大小を問わず、海外に拠点展開することが顕著になっている。シリーズ第15回は、特殊鋼・ステンレス材料にとどまらず、磁性材やチタン合金、電子材料、刃物向け帯鋼やエネルギープラント向けなど、多方面に多様な商品を販売する櫻井鋼鐵(兵庫県西宮市)の櫻井透副社長に、タイを中心とした事業形態についてうかがってみた。



櫻井鋼鐵株式会社
代表取締役副社長
櫻井透

現地では拠点・設備をもたず、 独自のロジスティクス網構築でユーザーメリットを追求

未知だからこそ感じるチャンスの可能性 それが、海外ビジネスの魅力

「現地法人などの拠点があるわけではないので、海外展開しているかといわれると微妙ですが」と、櫻井透副社長が笑いながら説明された櫻井鋼鐵の(海外事業)は、素材からロジスティクス全般まで「日本ブランド」にこだわり、コンサル的な付加価値を高めた独自のスタイルとなっている。

同社が日本の特殊鋼の輸出業務をはじめたのは1990年前後にさかのぼる。当時、日本製が圧倒的に優位だったフェライト磁石を、台湾と韓国に出荷。

「月商200万円前後の売上をコンスタントに上げるようになって、『貿易はありだな』という流れになった」(櫻井副社長)と振り返る。フェライト磁石の輸出を約10年間続けた後、2008年からタイに生産拠点を構えた日系ユーザー向けに、材料の調達だけにとどまらず、加工から納入まで流通全般のスキームを構築したことが同社の海外事業の転機となった。

それまでは、日本材を海外にデリバリーするだけだったがタイでは材料供給にとどまらず、現地で在庫、加工、デリバリーを担う協力業者を確保。業者間のコーディネートを行いながら日系メーカーへ特殊鋼製品を納入するというかたちをつくりあげた。ここで特徴的なのは、櫻井鋼鐵としては現地に在庫の拠点も加工の設備も持っていないということ。現地担当の営業マンは現在も国内からの出張ベースで、櫻井副社長も数カ月一度は現地に赴いてフォローする。また、在庫から二次・三次を含めた加工、そしてロジスティクスまでの現地協力業者は、すべて日系で構成していることも櫻井鋼鐵の海外事業でのこだわりだ。

品質保証や技術指導など 特殊鋼一次専門商社として強み

価格メリットを追求するためにローカルメーカーから材料を購入することはない。現地法人をもたない櫻井鋼鐵では品質保証に万全の責任がとれないため、あくまでも「日本の特殊鋼」にこだわったトータルメリットを追求する。

「当社は特殊鋼の一次専門商社。母材に日本の高品質な特殊鋼があるということはもちろん、ユーザーとメーカーをダイレクトにつなぎながら品質保証や監査など、しっかりとフォローできる強みを前面にアピールしています」と櫻井副社長は力を込める。現地でのロジスティクス網のきめ細かなバリエーションの構築だけでなく、現地で加工にあたる作業員への技術指導も担当する。

「お客様、協力業者の現地駐在員と打合せが終わっても、実際に日本の材料を取り扱うのはローカルのタイ人など。彼らが現場の作業を理解して納得しないと日本の特殊鋼のメリットは生かせません。そうした管理・指導も、現地のメーカーや商社と協力体制を築きながら行えることも、櫻井鋼鐵が特殊鋼の一次専門商社である強みだと自負しています」(櫻井副社長)と胸を張る。国内で行うコンサルティング的営業を海外でも実践することで、現地の商社には対応できないソフト面を埋めている。

ニーズを捉えて日本材としての 価格メリットをアピールする

現地に拠点をもちないにもかかわらず、「オール日本ブランド」で日系ユーザーのニーズに応える海外の事業スキームをつくりあげた櫻井鋼鐵。タイでのロジスティクスが契機となって、周辺の国々へも事業範囲を拡大した。タイを海外事業の核として、ベトナムやインドネシア、ミャンマーなどでも加工先を確保。アジア地域での三国間貿易を行いなが

ら、価格メリットやリードタイム短縮などでユーザーメリットを追求している。

「その意味では、タイをセンターにした海外事業のアイデアは尽きないわけで、とてもおもしろい。国内営業への相乗効果もあります。アジア各国へのスポットでの輸出もありなんだ、という意識変化から拡販にもつながり、中国、台湾、韓国、ベトナムへの海外事業は現在7億円規模までに伸びました」(櫻井副社長)と、タイ以降10年間の手応えを感じている。

海外の需要家向けに日本材でビジネスを行うには、「価格面で厳しい」と思われがちな昨今だが、「自動車ならエンジンまわりや足まわり。重要保安部品などには、しっかりと品質保証が求められる部分があります。そうしたものに、現地での品質確保やリードタイム短縮などに工夫を凝らし、『日本材としての価格メリット』を示し、ユーザーニーズを捉えることはできるはず」(櫻井副社長)と飽和しつつあるかに思われる、アジア地域のビジネスにも可能性を見いだす。

ニーズとメリットを両立させながら 新たな国々も視野に入れる

今後の展望はどう考えているのだろうか。櫻井副社長に聞いてみた。

「個人的にはいつでも現地法人を立てたい意気込みはある。しかし、それには一拠点でそれなりの売上規模が必要なので」と櫻井副社長は、まだまだ見きわめの段階であることを強調する。

「これからインドやメキシコなど、違う国々が視野に入ってきます。いずれにしても発信は日本のユーザーの要望。お客様と話し合うことで私たちのメリットは出てくるでしょう。新しく展開する国々は、順番に大きくなって成熟もする。中長期的な観点から取り組んでいきたい」(櫻井副社長)と慎重さの中にも海外事業への熱意を見せた。

「はがねの日」記念行事——「はがねの日」イベントレポート——

東京支部 4月11日(木) 第15回ボウリング大会 於：東京ドームボウリングセンター 参加者数100名

[成績]2ゲーム トータルピン数・4人1組
(女性はHC10ピン／1ゲーム)

[団体の部]

優勝 清水特殊鋼 1323ピン
準優勝 伊藤忠丸紅特殊鋼Aチーム 1313ピン
3位 加藤鋼材 1202ピン

[個人の部・男子]

優勝 近藤 亮二(清水特殊鋼) 425ピン
準優勝 川本 竜(伊藤忠丸紅特殊鋼A) 365ピン
3位 湯浅 潤一(伊藤忠丸紅特殊鋼A) 356ピン

[個人の部・女子]

優勝 石野 奈央子(清水特殊鋼) 375ピン
準優勝 島野 香菜(日鉄物産) 372ピン
3位 渡邊 文乃(愛知製鋼) 279ピン



団体・個人優勝者による記念撮影

第15回目を迎えた伝統の大会に16社25チームが参加。結果は3年ぶりに清水特殊鋼が団体優勝に輝いた。個人スコアでも男女とも、同チームの近藤さん、石野さんが優勝する完全勝利をおさめた。今大会より、全国大会へは「2年連続および、同一会社から複数チームは出場できない」となったため、清水特殊鋼と3位の加藤鋼材が10月に東京・品川で行われる全国大会へ出場する。大会会長の確井達郎支部長が「本年度もさまざまな行事に大勢での参加をお願いしたい」と呼びかけ、大会実行委員長の三上見史広報部会長は「本日はボクシング世界戦に勝利して全身でよろこびを表したガッツ石松氏にちなんで“ガッツポーズの日”。全国大会でもガッツポーズを見せて」とエールをおくった。



大阪支部 6月2日(土) 第8回ファミリーコンサート 於：大阪市中心公会堂 参加者数：約1000名

会場の予約が取りにくくオーケストラ・メンバーとの予定も合わせづらいことから、昨年は別会場での演芸ショーに振り替えていたファミリーコンサートだが、毎年多くの観客を動員し好評を博していたことから2年ぶりの開催にこぎつけた。過去最多となる1000人の聴衆が集まった今回は、「ぶらりヨーロッパ音楽旅行」と題してシュタール・フィルハーモニー管弦楽団がモーツァルトやマスカーニ、ビゼーなどの楽曲を演奏した。



過去最多となる約1000人が詰め掛け会場はほぼ満席に

開演に先立ち久木田至支部長は、特殊鋼業界以外からも大勢詰めかけた観客に特殊鋼のPRを交えながらあいさつ。一昨年までは参加できるのは小学生以上だったが、今回からは未就学児も可とし、専用座席も準備された。また、全曲わかりやすいように演奏前に解説がつくなど工夫がされたほか、客席からステージに参加できる指揮者体験コーナーも人気で、ファミリー向けにふさわしい公演が大盛況のうちに終わった。



開演に先立ちあいさつする久木田支部長



演奏を行ったシュタール・フィルハーモニー管弦楽団

名古屋支部 名古屋支部 4月4日(木)ボウリング大会 於：星ヶ丘ボウル

参加者数：108名

最初に松岳大樹支部長の始球式で勢いよく開幕し、36チーム108名がゲームを楽しんだ。

白熱したゲームの結果、団体戦はさくらチーム(桜井興産)が見事三連覇、個人戦男性の部も大橋氏(川本鋼材)が同様に三連覇を達成した。

女性の部は対馬氏(リントツ)が優勝した。

ゲーム終了後の交流会では恒例の鋼に関するチーム対抗三択クイズで盛り上がりを見せる中、同業同士交流を深めた。



【団体の部】

優勝	さくらチーム(桜井興産)	1131ピン
準優勝	チームミライ(川本鋼材)	1092ピン
3位	愛鋼モンスターズ(愛鋼)	1050ピン

【個人優勝】

男子	大橋 健太(川本鋼材)	443ピン
女子	対馬 早紀(リントツ)	392ピン



あいさつする松岳支部長



優勝した「さくら」チーム

東北支部 7月6日(土)ボウリング大会 於：コロナキャットボウル

参加者数33名

第4回となるボウリング大会は横山支部長のあいさつ・始球式の後、スタート。今年も竹内ハガネ商行Aチームがダントツで優勝し、見事4連覇を飾った。今年の全国大会出場はノボル鋼鉄Aチームとなった。

団体優勝	竹内ハガネ商行Aチーム	938ピン
準優勝	ノボル鋼鉄Aチーム	777ピン
第3位	藤田商事チーム	750ピン
個人優勝	斎藤和幸(竹内ハガネ)	365ピン
準優勝	若生大智(ノボル鋼鉄)	321ピン
第3位	相原翔太(竹内ハガネ)	295ピン



北関東支部 4月20日(土)ボウリング大会 於：ドリームスタジアム太田

参加者数：43名

鈴木至典支部長あいさつの後、競技説明に続いて開催。競技終了後、表彰式が執り行われた。大いに盛り上がる中、個人男子で準優勝・三位、個人女子で優勝を果たしたF-MAX(株)が北関東支部代表として全国大会出場権を獲得した。

【個人男子】

優勝	金嶋 俊行(小山鋼材)	317ピン
準優勝	中本 博士(F-MAX)	314ピン
3位	中村 祐司(F-MAX)	311ピン

【個人女子】H.C.20(1ゲーム)

優勝	新井 恵(F-MAX)	263ピン
----	-------------	-------



九州支部 5月12日(日) 清掃活動・野球観戦

於：福岡ヤフオクドーム 参加者数：165名

例年通り、九州ステンレス流通協会との共催でゴミ拾いと野球観戦を実施した。過去最高の165名で福岡タワーから福岡ドームまで一時間の清掃活動を行い、13時プレーボールのVS千葉ロッテ戦を楽しんだ。家族での参加・海外実習生の参加等で大変盛り上がった会になった。(野球の結果はホークスが逆転負けし残念な結果になりましたが…)



平成30年度 「特殊鋼販売技士1級」資格認定式



全特協では令和元年5月14日(火)、東京・鉄鋼会館において「特殊鋼販売技士1級」の資格認定式を開催した。新たに認定された有資格者数は、東京支部40名・東北支部11名・北関東支部5名・名古屋支部53名・静岡支部10名・大阪支部56名、九州支部13名の合計188名。

認定式では、山陽特殊製鋼の尾上美帆(東京)、ノボル鋼鉄の丹野智瑛(東北)、竹内ハガネ商の齊藤卓(北関東)、司鋼会会の牧省吾(名古屋)、井上特殊鋼の石原陽平(静岡)、植田興業の鈴木雅人(大阪)、井上特殊鋼の富川猛(九州)の各氏が各支部を代表して佐久間会長より資格認定証を授与され、愛鋼の林達也氏が合格者を代表して答辞を述べた。認定式終了後は祝賀懇談会も開催され、特殊鋼業界をリードする若手人材の交流が図られた。

会長あいさつ



(一社)全日本特殊鋼流通協会
会長 佐久間貞介

全特協の活動の中で人材育成事業はもっとも重要な事業の一つです。今回、認定された方々は、特殊鋼販売技士の中では、もっともレベルの高い1級という資格で、構造用鋼、工具鋼、ステンレスの分野で高度な専門知識を身に付けられました。皆様方は1級資格認定者としての誇りを持ちながら、今後の特殊鋼業界を担う専門家として第一線でご活躍されることと期待しています。

ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局 金属課長
黒田紀幸 様

現在、日本の製造業はAIやIoT、ロボット技術の進展など大きな変革期にあり、自動車産業でも「CASE」という大変革の時代が押し寄せています。こうした動きを受けて特殊鋼は、さらなる軽量化や高強度化、電気自動車などへの対応の中で、求められる知識が複雑化していくものと思われます。今後、鋼種の特徴を深く把握し、熱処理等の加工に精通した特殊鋼販売技士の果たす役割は増していくはずで、今回合格された皆様方は、学んだ知識で令和という新時代を切り開き、ご活躍いただくことを期待します。

講評



検定試験委員会
委員長 飯久保知人

受験者203名中188名が合格した今回の講座は、合格率が93%。80%前後を推移していた近年では非常に優秀な結果となりました。また、成績優秀者も多くレベルの高い知識を身に付けたということで自信を持ってください。ただし、それは将来も保証できるかという点、これから先は皆さんの努力が必要です。特殊鋼は成分方法もお客様のニーズも、激しく変化する分野です。時代に対応しながら自身でアンテナを張り、いろいろな技術情報を常に習得しながら解決方法を勉強するという姿勢が求められます。スタートラインに立ったという気持ちで、これからの仕事をがんばってください。

答辞



資格取得者代表
愛鋼(株) 林達也

現在の特殊鋼流通業界を取り巻く環境は、昨年後半頃より回復基調に陰りを見せ始めています。地域や取引ユーザーによっては濃淡があり、材料の値上げなどによる収益率の低迷が見受けられます。海外では米中貿易戦争の行方、英国のブレクジットや朝鮮半島の問題など国内経済に与える影響が大きく、当業界でも先行き不透明な情勢が続くと考えられます。こうした時代を勝ち抜くためには、お客様と情報交換を密にし、先んじてお客様のニーズにお応えできるよう、今回学んだ「特殊鋼の特性と事故例」の知識を礎に、より高い知識を身に付け、トラブル対応は勿論のこと新しい商品をご提案できるよう励み、お客様から信頼される営業マンを目指していきます。

祝賀懇談会あいさつ



副会長 湊義明

合格された1級の知識を実践に生かしてください。皆さんの会社は流通業といっても流通加工業が多いはずで、図面を読み取る上でも熱処理技術を理解する上でも、これから営業をやっていく上で、まず現物を見る。そして、製造工程も見て理解していくことが大事なのではないかと思えます。口で言うのは簡単ですが、少しずつそうした経験を積んで、理解と習得をしていただきながら成長していただければと思います。



副会長 福原實晴

私も、この1級を持っています。「SKD11の製品が割れた。どう処理しますか」という問題に「メーカーも流通も、まず金を出せ」と回答しました。クレームに「金は絶対に出さないぞ」という姿勢ではうまくいかない。損失の半分は補償するという気持ちがあれば「こういう使い方はやめてください」と言えます。クレーム処理は心と心。論理で勝って商売に負けてはダメ。論理を少し譲ってビジネスを貫け。1級合格者に一番学んでもらいたいことです。

平成30年度「特殊鋼販売技士1級」合格者名簿

平成30年度
特殊鋼販売技士1級合格者数

支部名	受験者	合格者
東京	47	40
大阪	58	56
名古屋	58	53
東北	11	11
北関東	6	5
静岡	10	10
北九州	13	13
合計	203	188

■成績優良者：23名

[東京支部]	尾上 美帆	山陽特殊製鋼(株)
[大阪支部]	鈴木 雅人	植田興業(株)
	中上 昌俊	合同製鐵(株)
	上山 和久	辰巳屋興業(株)
	栗脇 海斗	(株)阪神メタルックス
	小澤 正広	木ノ本伸線(株)
	田中 雄介	〃
[名古屋支部]	鈴木沙也加	愛知製鋼(株)
	林 陽介	(株)交邦磨棒鋼センター
	猪飼 充	(株)タカギスチール
	林 達也	愛鋼(株)
	木村 昌稔	佐久間特殊鋼(株)
	長谷川 拓馬	〃
	藤本 健	〃
	牧 省吾	(株)司鋼商会
	山本 孝郎	〃
	坪内 一憲	東北特殊鋼(株)
[東北支部]	薄藤東志紀	ノボル鋼鉄(株)
	丹野 智瑛	〃
	二階堂 淳	東特興業(株)
	福田 聡	日立金属工具鋼(株)
[静岡支部]	石原 陽平	井上特殊鋼(株)
[九州支部]	富川 猛	井上特殊鋼(株)

東京支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者19名

石泊佳那美	愛知製鋼(株)
初鹿野綾子	浅井産業(株)
柏木かんな	〃
中井 康貴	井上特殊鋼(株)
高見真理名	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
小杉 昌也	唯井鋼材(株)
進藤 兼松	兼松(株)
丹治 浩文	山陽特殊製鋼(株)
見越 千絵	〃
宮脇 佑也	〃
石崎 達也	大同特殊鋼(株)
西山 大裕	大洋商事(株)
澤井 裕典	辰巳屋興業(株)
鈴木 里菜	中川特殊鋼(株)
石津 輝男	〃
吉村 智行	〃
中野 翔	野村鋼機(株)
川崎 尚人	阪和興業(株)
古川 誠	藤田商事(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者9名

星野 良輔	青山特殊鋼(株)
松田 拓晃	〃
湯本 拓也	浅井産業(株)
藤原 将祐	〃
鹿熊 崇史	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
山口 剛	インターナショナルアロイ(株)
山竹 隼人	ウメトク(株)
小林 克征	小山鋼材(株)
荒川 大樹	(株)マクスコーポレーション

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼) 合格者12名

綿本 勝	青山特殊鋼(株)
谷川 晶洋	秋山精鋼(株)
吉野 敦	(株)UEX
馬場 祐亮	山陽特殊製鋼(株)
尾上 美帆	大同特殊鋼(株)
谷本 成志	〃
池垣 敬裕	〃
江頭 裕人	〃
尾崎 雄也	〃
浅井 龍	日立金属商事(株)
宮内 直也	(株)ブルーナス
室屋 司	陽鋼物産(株)

大阪支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者40名

山内進太郎	井上特殊鋼(株)
片倉 健太	〃
工藤 佑也	〃
鈴木 雅人	植田興業(株)
西岡 千恵	大阪精工(株)
横井 友哉	大阪ミガキ(株)
松本 将範	カネヒラ鉄鋼(株)
山本 崇之	北島鋼材(株)
小澤 正広	木ノ本伸線(株)
田中 雄介	〃
中上 昌俊	合同製鐵(株)
牧野光太郎	〃
高橋 利行	芝本産業(株)
向園 孝志	新関西製鐵(株)
劉 争	大洋商事(株)
杉山 泰祐	山陽特殊製鋼(株)
春日 翔	大同興業(株)
丹羽 敏彦	大同特殊鋼(株)
池田 遠平	大博鋼業(株)
那須 仁	大洋商事(株)
高橋 潤一	〃
井上 隼樹	〃
喜多 和之	〃
上山 和久	辰巳屋興業(株)
小林 太郎	(株)天彦産業
渡邊 恒次	中川特殊鋼(株)
藤澤 貴輝	日本スチール(株)
窪田 徳明	〃
拓哉 隆裕	白鷺特殊鋼(株)
清水 優志	〃
中尾 瞬	(株)ハクロフォージング
増田 潤也	林田特殊鋼材(株)
中道 海斗	(株)阪神メタルックス
栗脇 直也	(株)堀田ハガネ
安田 成美	〃
矢野 敦史	三菱製鋼(株)
川内 基裕	山野鋼材(株)
山本 克彦	山本鋼材(株)
富田 寅三	陽鋼物産(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者9名

嶋崎 哲也	ウメトク(株)
青木 拓磨	〃
齊賀 浩史	扇鋼材(株)
前出 直大	加藤鋼材(株)
野秋 靖文	佐々木鋼業(株)
南野 広伸	(株)竹内ハガネ商行
朱 宇	阪和興業(株)
山崎 志保	(株)不二越
阪中 俊介	陽鋼物産(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼) 合格者7名

斉藤 健一	伊勢鋼材(株)
西川 英樹	田島スチール(株)
池田 和永	辰巳屋興業(株)
熊澤 元哉	〃
貴瀬 裕之	(株)天彦産業
別所 純	日本高周波鋼業(株)
坂本 一馬	松井鋼材(株)

名古屋支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者26名

小林 周貴	愛鋼(株)
大橋 寛幸	〃
鈴木沙也加	愛知製鋼(株)
葛巻 達也	〃
堤 亮太	浅井産業(株)
加藤 勇希	大阪ミガキ(株)
奥村 太規	クマガイ特殊鋼(株)
川北 純平	〃
立田 佳史	虹技(株)
林 陽介	(株)交邦磨棒鋼センター
桐山 佳大	佐久間特殊鋼(株)
鷺見 将太	(株)三悦
宮崎 悠	〃
内田 巧	山陽特殊製鋼(株)
川崎 修一	第一熱処理工業(株)
紺野 昂	大同興業(株)
安井 直樹	大同特殊鋼(株)
倉知 然輔	〃
小笠原 葵太	大洋商事(株)
澤村 淳	孟鋼鉄(株)
朱 宇	中川特殊鋼(株)
成田 将平	中島特殊鋼(株)
伊藤 舞	(株)ハヤカワカンパニー
中川 真緒	(株)平井
愛甲 圭介	陽鋼物産(株)
合田 満理奈	若杉鋼材(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者10名

吉野 優佑	浅井産業(株)
-------	---------

杉本 裕樹	グリーンスチール(株)
猪飼 充	(株)タカギスチール
桂木 哲平	中島特殊鋼(株)
近藤 将司	〃
相羽 桂輔	〃
加藤 竜之介	〃
間宮 彰規	名古屋特殊鋼(株)
鷲野 一平	〃
杉浦 基雅	松岡特殊鋼(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼) 合格者17名

林 達也	愛鋼(株)
鈴木敦登	佐久間特殊鋼(株)
真壁 晴香	〃
木村 昌稔	〃
長谷川 拓馬	〃
藤本 健	〃
芝 輝文	〃
水越 健	〃
牧 省吾	(株)司鋼商会
山本 孝郎	〃
小西 崇之	大同興業(株)
伊藤 秀亮	〃
前川 雄哉	(株)大同分析リサーチ
服部 友宏	辰巳屋興業(株)
坪内 一憲	東北特殊鋼(株)
奥山 誠知	中島特殊鋼(株)
小山 翔太	阪和興業(株)

東北支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者3名

阿部 雄也	佐藤商事(株)
佐々木 幸司	藤田商事(株)
渡部 翔太郎	〃

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者8名

笠原 慎矢	青山特殊鋼(株)
本郷 貴之	アッサブジャパン(株)
八嶽 拓馬	ウメトク(株)
二階堂 淳	東特興業(株)
薄藤東志紀	ノボル鋼鉄(株)
丹野 智瑛	〃
佐藤 孝徳	〃
福田 聡	日立金属工具鋼(株)

北関東支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者2名

大嶋 優介	櫻井鋼鉄(株)
加藤 俊貴	(株)マクスコーポレーション

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者3名

田島 正博	青山特殊鋼(株)
齋藤 利枝	小山鋼材(株)
斉藤 卓	(株)竹内ハガネ商行

静岡支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者7名

石原 陽平	井上特殊鋼(株)
柳原 健太	〃
徳永 実一	〃
井川 慎介	佐久間特殊鋼(株)
町永 光	〃
緒方 智一	ノボル鋼鉄(株)
杉岡 尚人	(株)平井

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者3名

三澤 卓巳	青山特殊鋼(株)
平野 雅和	〃
鈴木 誠	(株)サンコー

九州支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼) 合格者6名

前田 洋平	井上特殊鋼(株)
澄川 裕介	〃
雷川 猛	〃
久保 菜理	〃
佐々木 貴衛	〃
五十嵐 巧	白鷺特殊鋼(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼) 合格者7名

釜本 達哉	栗井鋼商事(株)
佐藤 健一	〃
梅西 智美	井上特殊鋼(株)
加美 晃宏	〃
城島 弘幸	扇鋼材(株)
大坪 督胤	シバタ精機(株)
角田 圭一郎	〃



ザン・ティバウちゃんが チャイルドスポンサーシップを卒業しました!

全特協では2010年より社会貢献活動の一環として、社会基盤や経済が不安定な国に住む子供たちを支援する国際的な里親制度である、国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)の「チャイルド・スポンサーシップ」に参加。ベトナムとバングラデシュに住むチャイルド2名に、一人あたり毎月4500円の支援金を送っています。

このたび、昨年から支援してきたザン・ティバウちゃんが結婚することになり「支援の卒業」を迎えました。WVJでは、日本の価値観では若いと思われる年齢の結婚でも、チャイルドの住む社会の文化・慣習で妥当とされている場合には、これを尊重しています。これまでの支援を通じ、ティバウちゃんは中等教育まで受けることができました。厳しい環境にあるチャイルドにとって、これまで勉強を続けることができ、読み書きを身に付けることができたことはかけがえのない経験となりました。当協会としても、支援してきたチャイルドが未来に向かって大きく前に踏み出すことは喜ばしい限りです。

ティバウちゃんは支援から卒業しましたが、協会としてはこの社会貢献活動を続けていくべく、新たにフィリピンに住む、ジョナリンちゃんを支援することになりました。これまでと同様に、チャイルドたちが大きく羽ばたくよう支援プログラム参加の継続にご理解を賜りたくお願い申し上げます。



支援を卒業するザン・ティバウちゃん。ベトナム・ムオンチャ地域(首都ハノイから北西へ約570kmの山岳地帯)に暮らす。



ザン・ティバウちゃんに代わって新しくスポンサードする

アルヴァレズ・ジョナリンちゃん
(2007年8月29日生まれ)

小学校6年生のジョナリンちゃんは、両親と1人の姉妹と一緒に暮らしています。好きなことはおもちゃで遊ぶことです。支援は、ジョナリンちゃんが健やかに育つため、サマール地域の自立に向けた諸活動に役立てられていきます。

フィリピン・サマール地域情報

開発プログラム支援期間：2009～2025年

フィリピンの首都マニラから南東へ約561kmの場所に位置する、サマール島南部のサンタリア市の13か村を対象に、「サマール地域開発プログラム」が実施されています。支援地域の主な民族はワライ族とピニサヤ族で、ワライワライ語が使用されています。

サンタリア市は、サマール州でも最も貧しい地域の一つです。主産業は農業と漁業ですが、技術や資金の不足により農業生産性が低く、マングローブ伐採の影響で漁獲高も減少しています。農業・漁業以外の産業は乏しく、新たな知識や技術を身に付けて所得を得る機会がありません。不衛生な生活環境による感染症や下痢の頻発も問題となっています。



※全特協のチャイルドスポンサーシップ関連記事は、すていーる41号・42号・45号・50号・58号・64号・67号に掲載しています。

理事会・委員会報告

■理事会

○第18回理事会

日時：平成31年3月27日(水)16:00～17:00 於：鉄鋼会館 出席者：20名
内容：①2019年度の事業計画及び取支予算について
②第7回定時総会について
③委員及び講師等の諸手当の支給内規の一部変更について
④その他

○第16回理事会

日時：平成31年5月14日(火)15:30～16:30 於：鉄鋼会館 出席者：17名
内容：①議案
第1号議案 平成30年度事業報告の件
第2号議案 平成30年度取支決算の件
第3号議案 第7回定時総会に掲げる議案及び進行内容の件
第4号議案 就業規則等の改正の件
②各委員会委員長報告
③その他

■運営委員会

○第24回運営委員会

日時：平成31年3月27日(水)14:00～15:50 於：鉄鋼会館 出席者：18名
内容：①2019年度の事業計画及び取支予算について
②第7回定時総会について
③委員及び講師等の諸手当の支給内規の一部変更について
④支部報告、各委員会報告
⑤その他

○第25回運営委員会

日時：令和元年5月14日(火)14:00～15:20 於：鉄鋼会館 出席者：委員19名
内容：①平成30年度事業報告及び取支決算について
②第7回定時総会について
③就業規則等の改正について
④支部報告、各委員会報告
⑤その他

■総務委員会

○第18回総務委員会

日時：平成31年度3月13日(水)15:00～17:00 於：安保ホール 出席者：9名
内容：①2019年度の事業計画及び取支予算について
②第7回定時総会について
③就業規則等の改正について
④委員及び講師等の諸手当の支給内規の一部変更について
⑤その他

○第19回総務委員会

日時：令和元年5月9日(木)15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館 出席者：8名
内容：①平成30年度の事業報告及び決算について
②第7回定時総会について
③就業規則等の改正について
④第18回理事会及び第24回運営委員会(3/27開催)の議事録中、総務委員会に付託された事項の取扱いについて
⑤その他

■人材育成委員会

○第18回人材育成委員会

日時：平成31年3月12日(火)15:00～17:00 於：鉄鋼会館 出席者：12名
内容：①前回の人材育成委員会議事録報告について
②平成30年度研修講座実施状況報告について
③平成30年度販売技士1級研修講座について
④2019年度販売技士・加工技士研修講座の計画(案)について
⑤2019年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑥西日本ブロックのWEB講座テスト実施状況及び今後のスケジュールについて
⑦次回委員会開催日程について

○特殊鋼販売技士1級資格認定式

日時：令和元年5月14日(火)17:00～19:00 於：鉄鋼会館 出席者：65名
内容：①経済産業省製造産業局金属課：黒田紀幸課長御挨拶
②特殊鋼販売技士1級資格認定証書授与
③祝賀懇談会

○第19回人材育成委員会

日時：令和元年7月22日(月)15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館 出席者：9名
内容：①第18回の人材育成委員会議事録報告について
②令和元年度販売加工技士・販売技士研修講座計画について
③令和元年度事業計画及び予算について
④特殊鋼販売技士、販売加工技士の合格者・合格率及び制度改革の推移について
⑤WEB講座のデモ及び実施結果報告について
⑥次回委員会について

【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

○1級合否判定会議

日時：平成31年4月10日(水)15:00～16:40 於：鉄鋼会館 出席者：13名
内容：①特殊鋼販売技士1級合否判定について
②講師講評について
③飯久保検定試験委員長総評について
④指導要領PPTデータの修正について

○3級講師事前会議

日時：平成31年度4月19日(金)15:00～16:30 於：大阪・鐵鋼會館 出席者：14名
内容：①平成31年度(令和元年度)人材育成事業年間予定等について
②平成31年度(令和元年度)3級研修講座の研修内容、試験問題について
③大阪支部・中国支部3級WEB講座実施について

○3級問題選定会議

日時：令和元年5月24日(金)15:00～16:30 於：安保ホール 出席者：13名
内容：①令和元年度講師一覧表及び人材育成事業について
②令和元年度3級検定試験問題について
③3級検定試験、合否判定会議のスケジュールについて
④大阪支部WEB講座実施状況について

○3級合否判定会議

日時：令和元年7月17日(水)15:00～17:00 於：鉄鋼会館 出席者：13名
内容：①特殊鋼販売技士3級検定試験の合否判定について
②講師講評について
③検定試験委員長総評について
④西日本ブロックのWEB講座実施状況について

■調査研究委員会

○第24回調査研究委員会

日時：平成31年3月14日(木)15:00～17:00 於：鉄鋼会館 出席者：9名
内容：①第88回(10-12月)景況アンケート調査報告
②第89回(1-3月)景況アンケートの設問について
③第17回経営環境に関するアンケートの調査結果報告について
④2019年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑤特殊鋼流通統計調査及び景況アンケートのメール配信化について
⑥次回委員会開催日程について

○第25回調査研究委員会

日時：令和元年7月1日(月)15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館 出席者：7名
内容：①特殊鋼流通統計調査について
②第89回(1-3月)景況アンケート調査報告について
③第90回(4-6月)景況アンケートの設問について
④令和元年度事業計画及び予算の報告について
⑤次回委員会日程について

■内外交流委員会

○第13回内外交流委員会

日時：平成31年3月20日(水)15:00～17:00 於：安保ホール 出席者：8名
内容：①2019年度事業計画(案)及び予算(案)について
②2019年度の海外視察研修について
③次回委員会開催日程について

■経営効率化委員会

○第16回経営効率化委員会

日時：平成31年4月5日(金)15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館 出席者：8名
内容：①前回の経営効率化委員会議事録報告について
②平成31年度(令和元年度)の事業計画及び予算について
③全国イベント「第4回全特協全国ボウリング大会」開催について
④来年度以降の全国イベントの検討について
⑤経営者・実務者セミナーについて
⑥玉掛技能講習会の実施について
⑦トラック受け渡しにおけるルールについて
⑧次回委員会について

○第17回経営効率化委員会

日時：令和元年7月18日(木)15:00～17:00 於：鉄鋼会館 出席者：8名
内容：①全国イベント「第4回全特協全国ボウリング大会」について
②経営セミナー「価格交渉に強い会社の作り方」について
③玉掛講習会アンケート結果について
④令和元年度事業計画及び予算について
⑤次回委員会について

■広報委員会

○第19回広報委員会

日時：令和元年7月10日(水)15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館 出席者：9名
内容：①広報誌「すていーる68号」の記事校正確認等について
②広報誌「すていーる69号」の記事内容等について
③令和元年度事業計画及び予算について
④次回委員会について

■青年部会

○第18回青年部会運営委員会

日時：平成31年3月8日(金)16:30～17:30 於：横浜・桜木町会議室 出席者：12名
内容：①「はがねの日」記念事業の今年度の普及事業について
②2019年度事業計画(案)及び予算(案)について
③青年部会の今後のスケジュールについて
④「はがねの日」アピール用小物の作成について
運営委員会に先立ち、横浜市金沢区の「昭和精工(株)」殿の工場見学会実施

○第18回青年部会正副部長会議

日時：平成31年4月16日(月)15:30～17:00 於：安保ホール 出席者：6名
内容：①青年部会第7回定時総会日程及び内容について
②平成31年度(令和元年度)の事業計画及び予算について
③「はがねの日」アピール用小物の作成の検討について
④本部定時総会関連懇親ゴルフについて

○第7回青年部会定時総会

日時：令和元年6月21日(金)16:00～16:30 於：虹技(株)会議室 出席者：18名
内容：①第1号議案 平成30年度事業報告及び取支報告承認の件
②第2号議案 令和元年度事業計画(案)及び取支予算(案)承認の件
③第3号議案 運営委員の選任(案)承認の件

○第19回青年部会運営委員会

日時：第7回定時総会と同じ
内容：審議事項 部会長・副部長選任について
報告事項 正副部長会議及び運営委員会の日程について

○工場見学会実施

日時：第7回定時総会と同じ
内容：兵庫県姫路市 虹技(株)工場見学

事務局だより

①「スペイン視察研修」参加24名を予定(内外交流委員会)

当協会の内外交流委員会では、今年度も海外視察研修として9月7日より6泊8日の日程でスペインを訪問します。5月14日より募集を開始し6月12日に締め切った結果、24名が参加することになりました。次号(69号)にて視察研修の様子をご報告させていただきます。

② 特殊鋼販売技士「2級研修講座」の開講について(人材育成委員会)

令和元年度は特殊鋼販売技士研修制度として4月の「入門編講座」からスタートし、5～6月に「3級研修講座」を開講しました。7月3日全国一斉には「3級検定試験」を実施し、可否判定会議の結果372名の資格認定者が新たに誕生しております。また、8月下旬～10月にかけて「2級研修講座」を各支部にて開講する予定です。研修内容は特殊鋼の鋼種別熱処理に関する基礎知識についてであり、30時間の研修講座にて習得した後、10月17日全国一斉に検定試験を実施する認定制度になっております。受講資格は、昨年度以前に「3級研修講座」を受講し「3級資格認定」を有する者となっております。現在、東京・東北・北関東・名古屋・静岡・大阪・九州の支部事務局より開講のご案内をしておりますので、受講を希望される方は開講予定の各支部事務局へお申込みください。

③ 第4回全国ボウリング大会開催について(経営効率化委員会)

3年前に東京で初めて全国ボウリング大会を開催し、その後大阪・名古屋でも開催しました。第4回目となる今年は、開催日程10月12日(土)12:00～16:00で、再び東京の品川プリンスホテルボウリングセンターで行います。各支部とも全国大会に向けて白熱したゲームを繰り広げており、現在次のチームが全国大会の出場権を獲得しています。なお、今年度より連続しての全国大会出場は不可となりました。(昨年全国大会に参加したチームは出場できない)

東京支部	清水特殊鋼・加藤鋼材
東北支部	ノボル鋼鉄
北関東支部	F-MAX
名古屋支部	川本鋼材・中川特殊鋼
静岡支部	未定
大阪支部	未定
中国支部	未定
九州支部	未定

④ 令和2年「新年賀詞交歓会」開催について

本部および東京支部合同開催の新年賀詞交歓会は、令和2年1月21日(火)17時30分より、昨年と同様の東京「経団連会館」において開催する予定です。詳細は、別途ご案内いたしますので、ご予約くださるようお願いいたします。

編集後記

会員、賛助会員の皆様方、暑中お見舞い申し上げます。今年の夏は昨年より暑さは少しましですが、まだまだ暑い日が続きます。くれぐれも熱中症には気を付けてください。ゴルフはなるべく控えたほうがよろしいかと!! 小生も8月は一回しかしません。

梅雨時の九州地区集中豪雨に被災された方、心よりお見舞い申し上げます。それにしても日本は亜熱帯地方になったかと思われる天気がつづきますね。地球そのものが変化しているのかもしれない。心配は尽きません。

すてぃーる 68号を発行致します。今号は第7回定時総

会の模様を中心にお伝えしております。佐久間会長のもと、今年は「ゼロベース スタート」を掲げ各委員会、各支部とも皆様のお役にたつ新しい企画を立案検討しております。ご期待ください。

特殊鋼を取り巻く環境は曇り時々雨でしょうか…世界情勢も不安定ですが、こんな時こそメーカー、商社、流通一丸となり高波を乗り越えていきましょう。

まだまだ酷暑が続くと思われます。お身体御自愛ください。健康第一です!!!

久木田 至